

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	TGF- $\beta$ シグナルによる転写調節とがん悪性化機構
研究代表者	宮園 浩平（東京大学・大学院医学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>応募者は TGF<math>\beta</math>シグナルの研究で、国際的にも高い評価を受けており、本研究は、学術的のみならず臨床医学的にも重要である。</p> <p>TGF<math>\beta</math>のもつ腫瘍抑制作用と腫瘍促進作用の二面性の全体像の把握及び最終的な治療戦略等の将来の展望に欠けている点はあるものの、がんの悪性化や EMT 過程に関与する TGF<math>\beta</math>シグナル下流の個々の分子メカニズムの詳細な解析がなされており、本研究を遂行することによって、新しい治療標的等、画期的な発見が期待される。</p> <p>本研究は、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>